

1. 報告要旨

沖縄・球美の里は、2012年7月の開所以来、2019年月3月末現在で、4397名(子ども3538名、保護者859名)の保養者を受け入れてきました。第92回目となる保養は6月20日から6月29日の9泊10日、未就学児を中心に、子ども23名、付き添いの保護者14名、計37名が参加しました。

久米島の豊かな自然の中で、放射能を気にすることなく、海や裸足になって芝生の上や岩山で遊ぶことが出来ました。イーブビーチや畳石ビーチを訪れ、初めて海に入った子もおり、海遊びを存分に楽しむことが出来ました。また、磯の生き物観察や久米島の生き物たちにたくさん触れることが出来ました。

食事でも放射能の心配がない食材で、島のお母さんたちの愛情たっぷりの沖縄料理です。例えばサーターアンダーギーやゴマ団子などの手作りおやつを食べることが出来ました。三食の食事はジューシー(沖縄風炊き込みご飯)、パイアのサラダ、空心菜の和え物、ゆし豆腐などの沖縄料理、最後のお昼には久米島産の車エビなどを使ったバーベキューを食べました。久米島の保養では、毎回のように島の方々から野菜などの差し入れがありますが、今回はそれに加えて「島バナナ」の差し入れがありました。初めての味に感激していました。

甲状腺検診は、野宗義博先生が担当しました。野宗先生は島根大学教授、及び大田総合医育成センターの特任教授として勤務されていました。(三月に島根大学を退官し、広島国際大学医療経営学部教授兼島根県公立邑智(おおち)病院外科参与として、医学授業と医療活動を継続されています。)

今回の保養は、久米島島内の方が、仕事の合間をぬってボランティアとしてお手伝いに来てくれました。また、久米島島内のなでしこ保育園の子どもたちが、球美の里に来訪し、リズム遊びやスイカ割りなどを一緒に楽しむことが出来ました。沖縄本島からは、天然酵母のパン屋「宗像堂」から手作りパンの差し入れがありました。「宗像堂」はほぼ毎回の保養に手作りパンを送っていただいています。球美の里のプログラムの協力としては、シーサー作りや手話サークル「くめしゅわ」の演し物、民謡グループ「なんくるさんしん」の演奏を楽しみました。毎日の保養の様子は球美の里のブログとSNS(フェイスブック・インスタグラム等)で発信しました。

※ブログ <http://kuminosato.blog.fc2.com/blog-entry-965.html>

2. 成果物

1. [球美の里ブログ](#)
2. [球美の里ホームページ](#)
3. [球美の里フェイスブック](#)
4. ニュースレター「[球美の里だより](#)」
5. [球美の里インスタグラム](#)
6. 「Hello!球美の里」[FMくめじま](#) (毎週金曜 12:30-13:00)
7. 「福島の子どもの保養施設 沖縄・球美の里保養100回記念イベント」『広報くめじま』(2018.12)
8. 「福島の子ども 癒す歌声 久米島の『球美の里』交流100回 古謝さん記念公演」『沖縄タイムス』(2019.1.10)
9. 「沖縄カカオプロジェクト カカオフレンズ募集」(保養支援として球美の里の紹介と寄附のお願い)『つながりつながる verda』vol.11 2019 SPRING (2019.3.1)